

Pポジションアンロックキット取付説明書 (Ver2.1)

UM-RY1-220516

CEP

1. はじめに

この度は、当社製品をご購入いただき、有難うございました。取付前に本説明書を熟読いただき、正しく取り付けて下さい。取り付けはすべて自己責任でお願いします。当方はいかなる場合も一切責を負いません。

2. 製品構成

- ・コントローラ(黒6) 1個
- ・ヒューズ付き専用ハーネス 1セット

3. 機能説明

車速ロック機能が付いている車両に接続すると、車速ロックされた(手動ロック含む)時「シフトレバーをPポジションにする(サイドブレーキをかける)とアンロック(解錠)します。エンジンを停止した場合も自動的にアンロックします。

トヨタ車は、シートベルトをしていると車速ロックしません。こういった車種に取り付ける場合は、必ず⑥⑦⑧を接続してください。本製品はシートベルトを一時的に非装着状態にするため、アンロック時にシートベルト警告灯が一瞬点灯し、場合によっては警告音が一瞬鳴る場合がありますが、故障ではありません。また、純正ナビでテレビ表示中に本キットがアンロックした場合、一時的にテレビ表示がキャンセルされる場合があります。

3. 配線方法

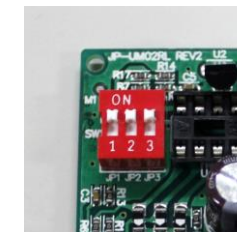
配線するときは必ずコネクタを抜いて作業して下さい。※は、必要に応じて接続して下さい。

ケーブル線色	説明と主な接続先
① 黒	ボディアースへ接続。
② 赤	常時電源の+へ接続。
③ 青	ドアロック配線図を参照して配線してください。
④ 緑	
⑤ 紫	
⑥ 青/白 ※	一部のトヨタ用シートベルトキャンセル信号に接続。通常接続しない。(詳細は基本配線図参照) ※ シートベルトを装着するとPポジションアンロックできない場合に接続。
⑦ 緑/白 ※	
⑧ 紫/白 ※	
⑨ 茶	ATのPポジションランプ(+)またはパーキングブレーキ線(-)へ接続。 接続すると、シフトをPレンジにした時、またはパーキングブレーキを引くとアンロックします。 ※ パーキングブレーキやPポジション信号がマイナスの車両へ接続する場合は、必ず DIP スイッチ 1 を OFF にしてください。
⑩ 灰	運転席ドアロックモーターのロック線(ロックした時一瞬+12Vが出力)へ接続。
⑪ 黄	ACCまたはIGへ接続。

車種別配線情報は、次のページを参考にしてください。
<http://cepinc.jp/chumon/torisetsu/torisetsu.html>

4. 設定方法

- 設定の変更は、カプラーからコントローラを抜いて行ってください。
- ケース内基板上的の DIP スイッチで各種設定を変更できます。



DIP スイッチ	設定項目	ON (初期設定)	OFF
1	茶線入力極性	+ (Pポジションやバックランプ等)	- (パーキングブレーキ等)
2	エンジン停止時アンロック機能	有効	無効
3	未使用		

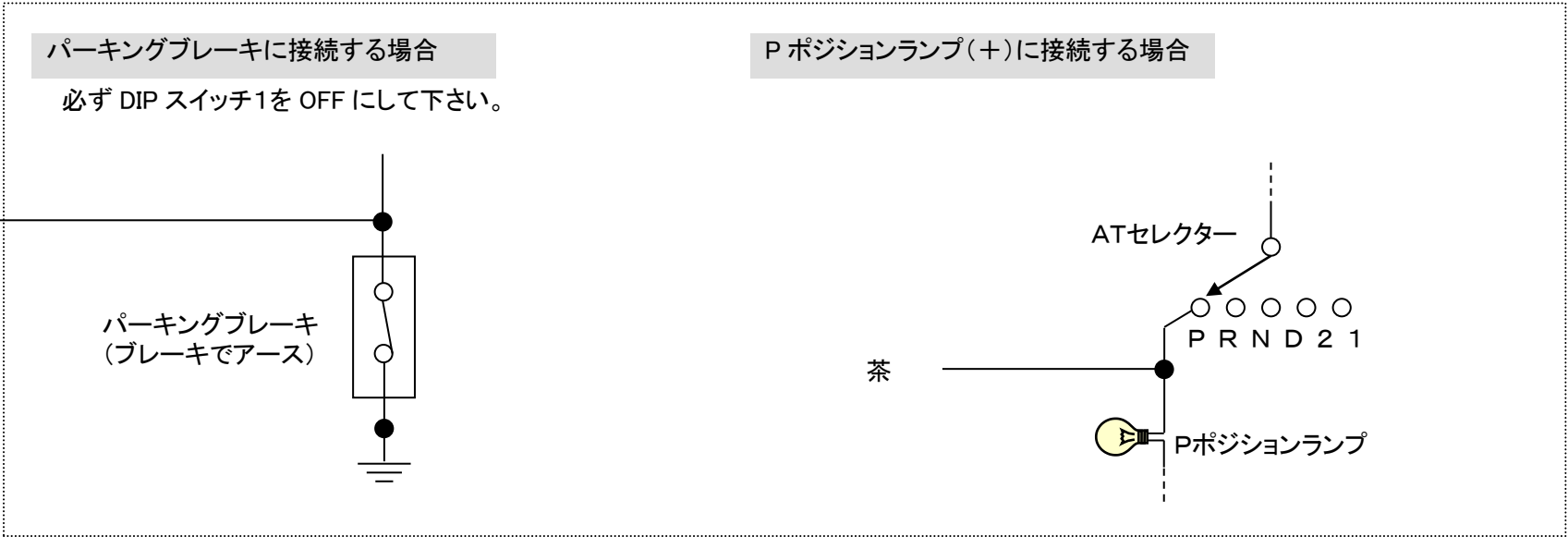
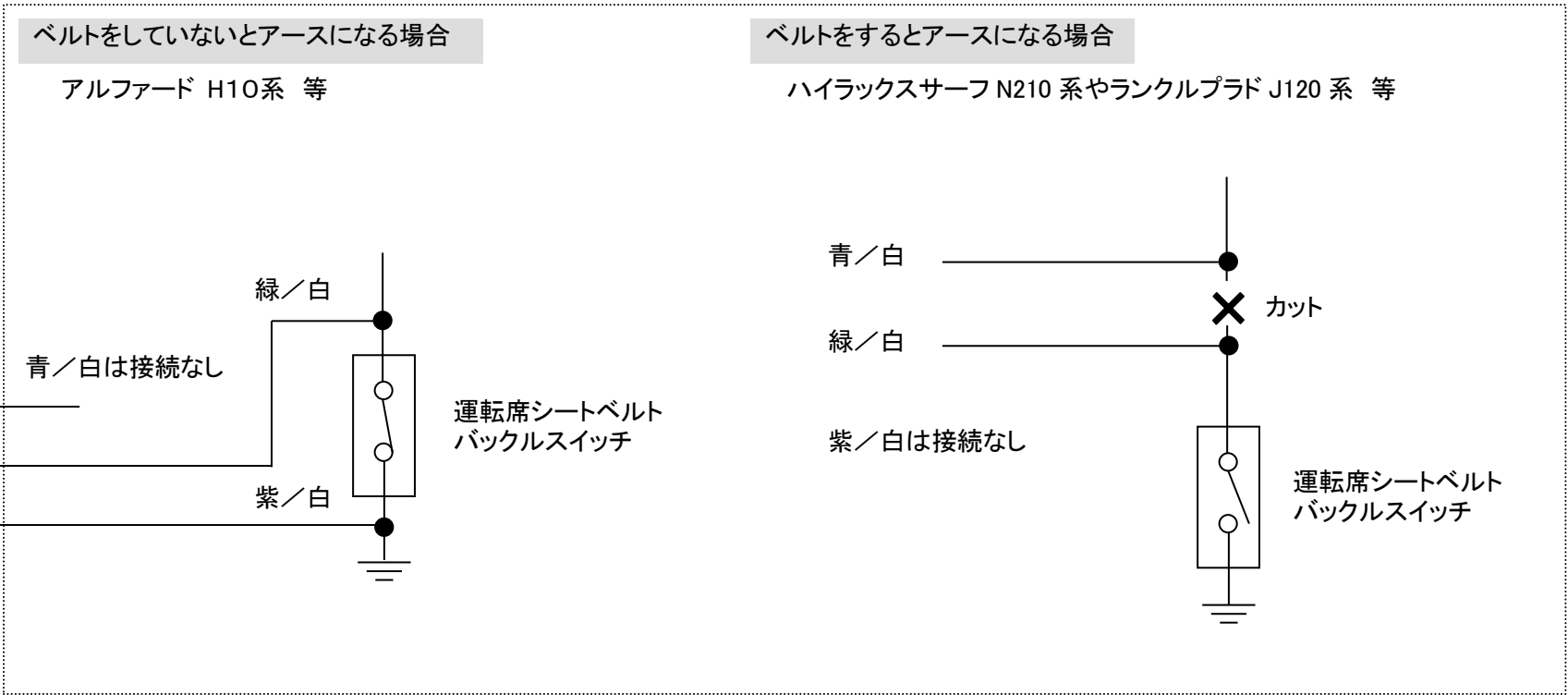
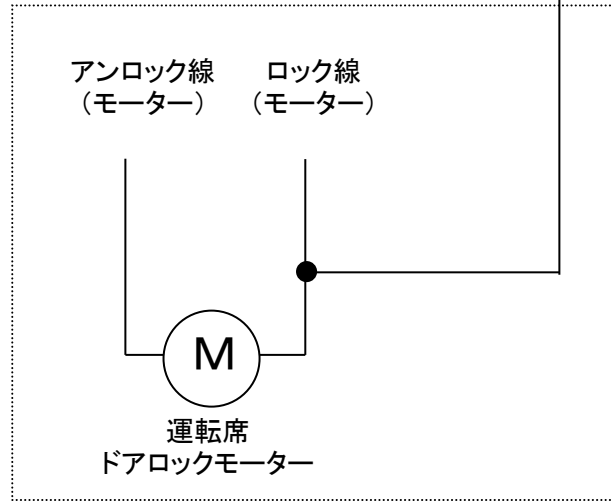
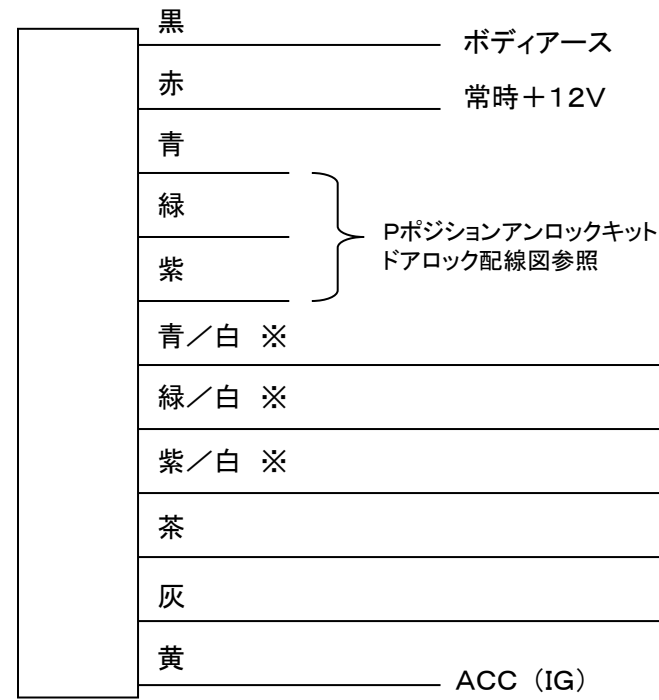
Pポジションの信号がマイナスの車両もあります。その場合は、DIP スイッチを OFF にして使用してください。

5. 配線検査方法

まず、別紙のドアロック配線検査手順を行ってください。

	手 順	正 常	異 常	原因・備考
1	コネクタを挿す。	アンロックする。 → 2へ。	アンロックしない。 リレーの「カチッ」という音もしない。	④緑線の結線不良。 ①黒線、または②赤線の結線不良。
2	車速ロック後、 ・シフトをPの位置にする。 ・パーキングブレーキをかける。	アンロックする。 → 3へ。	アンロックしない。	⑧茶線(Pポジション/パーキングブレーキ入力) ⑩灰線(ロックモーター入力)の結線不良。
3	車速ロック後、エンジンを止める。	アンロックする。	アンロックしない。	⑪黄線の結線不良。

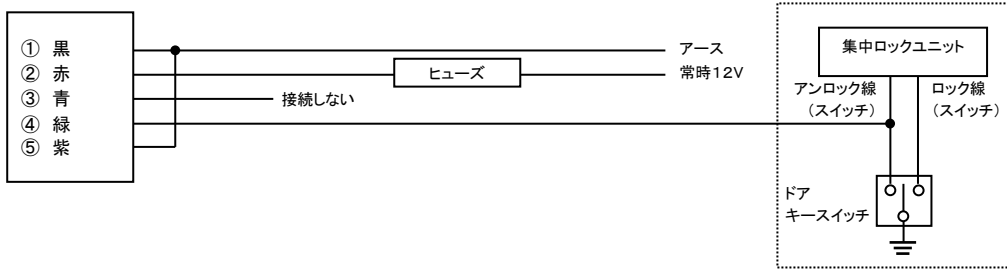
基本結線図



ドアロック基本結線図 (必ず当社のホームページで配線タイプを確認して配線してください。)

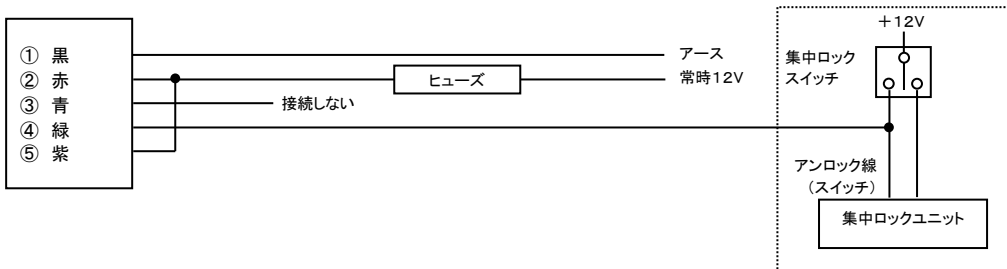
Aタイプ (例:ほとんどのトヨタ車)

すべてのドアにドアロックモーターが付いていて、マイナスコントロール(信号線をアースに接続するとロック・アンロック)の車種



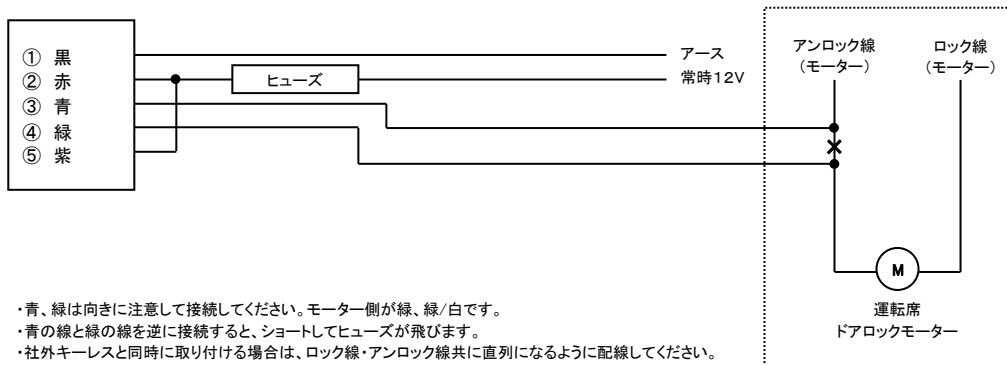
Dタイプ (例:BMW E32・E34・E36・E38・E39 等、GOLF3 ヤメ車の一部)等)

すべてのドアにドアロックモーターが付いていて、プラスコントロール(信号線を+12Vに接続するとロック・アンロック)の車種



Cタイプ (例:トヨタ車以外の日本車で純正キーレスが付いている車)

全ドアにドアロックモーターが付いていて、運転席のロックノブで集中ロックができる車種



- ・青、緑は向きに注意して接続してください。モーター側が緑、緑/白です。
- ・青の線と緑の線を逆に接続すると、ショートしてヒューズが飛びます。
- ・社外キーレスと同時に取り付ける場合は、ロック線・アンロック線共に直列になるように配線してください。

【当社キーレスと併設する場合のアンロック線の配線例】

- ① 図のようにアンロック線をカット後、モーター側のアンロック線に本体の緑線を接続。
- ② 本体の青線をキーレスの緑線へ接続。
- ③ キーレスの青線を車両側のアンロック線に接続。

【常時電源について】

赤線の電源は、必ず15A以上の容量の大きな線に接続してください。
(オーディオ裏は、容量が小さいのでうまく動作しない可能性があります。)

ドアロック配線検査手順

- ・検査は必ず本体からカプラーを抜いて行ってください。
- ・手順以外の差込は破損の元になりますので、絶対にしないように注意してください。
- ・検査ピンが熱くなる場合がありますので、検査時は必ず軍手等を使用して下さい。



Aタイプ (検査ピン1本使用)

順序	検査方法	車両の動作	異常時の原因
1	緑と黒の穴に検査ピンを約1秒差し込む。	アンロック	緑線の結線不良
2	緑と紫の穴に検査ピンを約1秒差し込む。	アンロック	紫線の結線不良

Dタイプ (検査ピン1本使用)

順序	検査方法	車両の動作	異常時の原因
1	緑と赤の穴に検査ピンを約1秒差し込む。	アンロック	緑線の結線不良
2	緑と紫の穴に検査ピンを約1秒差し込む。	アンロック	紫線の結線不良

Cタイプ

順序	検査方法	車両の動作	異常時の原因
1	緑と赤の穴に検査ピンを約0.5秒差し込む。	アンロック	緑線の結線不良
2	緑と紫の穴に検査ピンを約0.5秒差し込む。	アンロック	紫線の結線不良

- ・2本の検査ピンは、絶対にショートさせないでください。
- ・ヒューズが飛ぶ場合は、青線と緑線が逆に接続されている可能性があります。

検査ピンは、書類を留める金属のクリップ等を1本ご用意いただき、伸ばしてV字に曲げて製作してください。

